

遠城寺式乳幼児分析的発達検査法から構造化段階を探るための指標 (2026 年度試案)

評価は遠城寺式乳幼児分析的発達検査法の指示のとおり発達を観察し、指定検査用紙原表にプロット記入し、必要なら発達年齢らを規定に従い算出ください。

この表は遠城寺式乳幼児分析的発達検査法の各検査項目群を通過するにはどのような構造化要素を構造化できなくてはならないかを探求した試み（2026 年度）です。

- ・（表 1）は、通過できなかった場合に
対象児には発達に必要な何の構造化（知覚）が不足しているか、必要かを考える指標を、
- ・次の表（1. 運動～6. 発語）は、正しく対象児の構造化を観るための質的判定基準を、
示してあります。

次の 2 ページから 8 ページまでの表をダウンロードして使用ください。
なお、研究班は今も構造化研究を続けています。新しい知見やご指導をお待ちしています。

日本全体構造化臨床言語学会
構造化発達研究班（担当順：道関京子 田鎖泰子 木下美緒 弘田郁子）

表1 各検査項目通過において発達必要な構造化要素と構造化段階

項目	構造的段階	項目	構造的段階	関節構造化	項目	構造的段階	項目	構造的段階	項目	構造的段階	項目	構造的段階
スキップ	見通し調整	紙飛行機折	見通し調整		ひとり着衣	見通し調整	砂山協力作る	他者視点	4-5語文復唱	メタ言語機能	左右わかる	擬概念
ブランコ立乗		弾ボール掴む			信号正しく渡る		ジャンケン		4数詞復唱		5まで数概念	
片足跳ぶ	トポロジー修正	直線そい切る	ラテラリティ		入浴一人体洗	動的自己イメージ	断り遊び行く	共存	両親姓名住所	対話未正確・冗長	用途→物指示	拡散～擬概念
幅跳両足揃		十字かく			鼻かむ		順番に物使う		3-4語文復唱		3まで数概念	
でんぐり返し		ボタンはめる			顔一人で洗う		いい？許可求		同年子と会話		高低	
片足立つ		はさみ紙切る			上着自分脱ぐ		ままごと役演		2語文復唱		赤青黄緑	
くるっと回る	軸安定(頸腰椎前弯)左右分離	まねて〇かく	左右分離		靴一人ではく	身体イメージ	年下世話やく	相対分離	2数詞復唱	陳述開始	長短	連合～コレクション知覚
足交互階段		まね直線引く	手指分離開始		こぼさず食す		喧嘩いいつけ		自分の姓名		大小	
両足ぴよん		鉄棒ぶら下る			パンツ脱ぐ		電話ごっこ		おいしね表現		鼻ゆびさせる	
ボール蹴る		積木横2並			排尿予告す		親離れて遊ぶ		2語文話す		もう一つ	
一段足揃階段	自己軸準備(足首関節軸)	ぐる〇〇かく	手首軸準備(手首関節軸)回内回外		ストロ一飲む	身体イメージ開始	友と手つなぐ	分離準備	3物名前言う	物の属性として名前発見	目ゆびさせる	集合知覚
走る		コップへ水移			パンツ両足広		困難助け求め		1物名前言う		絵本読欲求	
靴はき歩く		積木2重ねる			口元拭こう		簡単な手伝い		3語言える		簡単命令実行	
2-3歩歩く		コップ粒取出			包紙取り食す		褒め動作繰返		2語言える		要求理解3/3	
座から立上	前後上下空間：重力緊張(膝関節安定)	なぐり書き	空間：重力緊張(肘関節・母指球開)		さじで食べる	身体図式開始自己-対象知覚	父母の後追い	絶対依存前言語思考	1-2語真似る	内臓から口腔分離	要求理解1/3	音声プロソディ知覚
つたい歩き		玩具車手で走			コップ持ち飲		人見知り		音声まねよう		バイバイ反応	
つかまり立上		びん蓋開閉			泣かず欲求示		身振真似		盛んに喃語		いけません！	
つかまり立つ		太鼓たたく			コップ両手で		取られ不快示		ダダチャ出る			
独で座り遊ぶ		親指と人差指			顔ふく嫌がる		鏡笑い話かけ		マパバ出る			
腹ばい体回す	体幹重力知前空間知	手→他手持替	肩前空間知		コップから飲	前空間内知覚	親怒顔わかる	前空間での快不快	ものに声出す	内臓から喉胸分離	親話感情区別	音声知覚
寝がえりする		手出し掴む			ビスケット食		鏡自分に反応		人に声出す			
横向で寝返り		ガラガラ振る			玩具見活発化		人見笑かける		キャーという		母声聞き分け	
首すわる	頸部重力知	つかんでいる	皮膚触覚知		さじから飲む	内臓皮膚覚知	声出し笑う	密着	声出し笑う	内臓呼吸知		聴覚知
体起す頭保つ		頬物を取手動			顔布不快示す		人声方に向く		泣かず声出す		人声静まる	
腹ばい頭少上	頸部反射	手しゃぶる	触覚反射		満腹乳首押出	内臓反射	人顔みる	生理反射	いろいろ泣声	生理反射		生理反射
時々左右に首		手触れつかむ			空腹時顔乳向		泣抱く静まる		元気な声泣く		大音に反応	
移動運動		手の運動			基本的習慣		対人関係		発語		言語理解	

発達を全体構造的に観る質的判定基準 — 運動

1. 移動運動

(0:0) あおむけでときどき左右に首の向きをかえる。
 (0:2) あおむけにして体をおこしたとき、頭を保つ。
 (0:4) 横向きに寝かせると寝がえりをする。
 (0:6) 腹ばいで体をまわす。
 (0:8) ものにつかまって立っている。
 (0:10) つたい歩きをする。
 (1:0~1:1) 2~3 歩あるく。
 (1:2~1:3) 靴をはいて歩く。

(0:1) 腹ばいで頭をちょっとかしげる。
 (0:3) 首がすわる。
 (0:5) 寝がえりをする。
 (0:7) ひとりで座って遊ぶ。
 (0:9) つかまって立ち上がる。
 (0:11) 座った位置から立ち上がる

○	△	×	メモ
・靴をはいて平坦な道を歩く (1:4~1:5) 走る。	・つま先歩き		
・安定して 10m 走る	・つま先走り ・不自然な動作 ・ななめ方向		
(1:6~1:8) ひとりで一段ごとに足をそろえながら階段をあがる。			
・ものにつかまらずにあがる	・ゆれ ・軸のずれ ・つま先あがり		
(1:9~1:11) ボールを前にける。			
・片足あげてける ・とまった状態でける	・つま先すり ・ゆれ	・とまってけられず ・走るついで	
(2:0~2:2) 両足でぴよんぴよんとぶ。			
・両足揃えて 2 回以上とぶ	・前進 ・床から足離れず ・つま先とび	・着地左右バラバラ	
(2:3~2:5) 足を交互に出して階段をあがる。			
・保育園幼稚園の階段でもよい	・つま先上がり ・揺れ	・手すり、壁など支え必要	
(2:6~2:8) 立ったままでくるっとまわる。			
・軸足で回転し他足で床蹴る ・180 度回転でもよい	・床蹴りなし ・アンバランス		
(2:9~2:11) 片足で 2~3 秒立つ。			
・少しのゆれ、両足でできなくてもよい ・開始時、足裏が床から離れ、指先不安定でもその後安定すればよい	・異常なゆれ ・足裏や指先不安定のままギリギリ 2-3 秒		
(3:0~3:3) でんぐりがえしをする。			
・頭から ・着地は真正面でなくてもよい		・横流れ	
(3:4~3:7) 幅とび（両足そろえて前にとぶ）。			
・両足揃えて前へ 60 cm 以上とぶ	・着地時手つき		
(3:8~3:11) 片足で数歩とぶ。			
・片足あげたまま 5-6 歩前へとぶ	・グラグラゆれ ・ポーズが不自然 ・軸ずれ		
(4:0~4:3) ブランコに立ちのりしてこぐ。			
・立ち反動つけられる			・代替⇒トランポリン交互飛び
(4:4~4:7) スキップができる。			
・まねして数回できる	・左右アンバランス	・リズムずれ	

2. 手の運動

(0:0) 手にふれたものをつかむ。

(0:1) 手を口に持って行ってしゃぶる。

○	△	×	メモ
・手を無意識にしゃぶるような行動			・はっきりした指しゃぶりでなくても可

(0:2) 頬にふれたものを取ろうとして手を動かす。

・頬にハンカチかぶせ、手で取りのけようとすればよい			・実際にとれなくてもよい
---------------------------	--	--	--------------

(0:3) おもちゃをつかんでいる。

(0:4) ガラガラを振る。

(0:5) 手を出してもものをつかむ。

(0:6) おもちゃを一方の手から他方に持ちかえる。

(0:7) 親指と人さし指でつかもうとする。

・親指を人さし指の方へ持っていき基石をつかもうとする		・指全体	・説明要
----------------------------	--	------	------

(0:8) おもちゃのたいこをたたく。

(0:9) びんのふたをあけたりしめたりする。

(0:10) おもちゃの車を手で走らせる。

(0:11) なぐり書きをする。

・クレヨンか鉛筆ででたらめでもよいので線をかく		・クレヨンや鉛筆突き立て	
-------------------------	--	--------------	--

(1:0~1:1) コップの中の小粒をとり出そうとする。

(1:2~1:3) 積木を二つ重ねる。

(1:4~1:5) コップからコップへ水を移す。

(1:6~1:8) 鉛筆でぐるぐる○をかく。

・真似て鉛筆でぐるぐる○をかく		・クレヨンでは不可	
-----------------	--	-----------	--

(1:9~1:11) 積木を横に二つ以上ならべる。

・真似て二つ以上そろえて横にならべる			・検者の提示したものにつなげて可
--------------------	--	--	------------------

(2:0~2:2) 鉄棒などに両手でぶらさがる。

・手掌回内握りで2-3秒ぶらさがる	・2秒以下	・全指で握れず ・介助あり	
-------------------	-------	------------------	--

(2:3~2:5) まねて直線をかく。

(2:6~2:8) まねて○をかく。

・楕円でもよいがつながっていることが必要である	・つながりあるも 凹みなど歪みあり	・つながりなし	
-------------------------	----------------------	---------	--

(2:9~2:11) はさみを使って紙を切る。

・はさみで適当に切る ・はさみを初めて使用する場合には切る見本をみせてもよい		・間違った持ち方	・正しい持ち方; 親指と人さし指か中指で対側持ち
---	--	----------	--------------------------

(3:0~3:3) ボタンをはめる。

(3:4~3:7) 十字をかく。

・検者の真似して大体正しく十字をかく			・検者の提示をしっかりと見るよう指示
--------------------	--	--	--------------------

(3:8~3:11) 紙を直線にそって切る。

・四角形を切る ・少しそれでも正しく切直す		・形は正しいが線からそれたまま	・両手使用
--------------------------	--	-----------------	-------

(4:0~4:3) はずむボールをつかむ。

・自分で落としたボールを両手でつかむ			・施行は3回まで
--------------------	--	--	----------

(4:4~4:7) 紙飛行機を自分で折る。

・簡単な物でよい ・本人の折れる目的物とわかる他のものでもよい		・目的物からかけはなれたもの	・代替; 紙飛行機と同程度の行程難度のあるもの
------------------------------------	--	----------------	-------------------------

発達を全体構造的に観る質的判定基準 — 社会性

3. 基本的習慣

(0:0) 空腹時に抱くと顔を乳の方に向けてほしがる。

○	×
・空腹時乳房、ミルク瓶顔近く→顔向けて口動、吸うような行動	

(0:1) 満腹になると乳首を舌でおし出したり、顔をそむけたりする。

(0:2) 顔に布をかけられて不快を示す。

・ハンカチ顔に→手足バタバタ	
----------------	--

(0:3) スプーンから飲むことができる。

・スプーンで飲ませある程度こぼさずに飲む	
----------------------	--

(0:4) おもちゃを見ると動きが活発になる。

・玩具目前で手足バタバタ・動き活発	
-------------------	--

(0:5) ビスケットやクッキーなどを自分で食べる。

・手に持たせると口へ持っていき食べる	
--------------------	--

(0:6) コップから飲む。

・コップを口にあててやり、あまりこぼさずに飲む	
-------------------------	--

(0:7) 顔をふこうとするといやがる。

・顔をそむけたり、手でハンカチをのけたりしようとする	
----------------------------	--

(0:8) コップなどを両手で口に持っていく。

(0:9) 泣かずに欲求を示す。

・表情や身振りで要求を養育者に伝えられる	
----------------------	--

(0:10) コップを自分で持って飲む。

・コップ両手で持ちあまりこぼさず飲む	
--------------------	--

(0:11) スプーンで食べようとする。

(1:0~1:1) お菓子のつつみ紙をとって食べる。

(1:2~1:3) 自分の口もとをひとりでふこうとする。

・食物など口周辺付着時手やハンカチでふこうとする	
--------------------------	--

(1:4~1:5) パンツをはかせるとき両足をひろげる。

(1:6~1:8) ストローで飲む。

(1:9~1:11) 排尿を予告する。

・排尿前に「シー」や身振り	・一人でモゾモゾ
---------------	----------

(2:0~2:2) ひとりでパンツを脱ぐ。

(2:3~2:5) こぼさないでひとりで食べる。

・スプーンでもはしでも OK ・多少はこぼし OK ・食器を目的通り使用(持ち方不問)	
--	--

(2:6~2:8) 靴をひとりではく。

・紐つきではない運動靴 OK	
----------------	--

(2:9~2:11) 上着を自分で脱ぐ。

・簡易前開き上着を一人で脱ぐ	・上下に揺らすだけですぐに脱げる服
----------------	-------------------

(3:0~3:3) 顔をひとりで洗う。

・一人で顔を洗い、タオルでふく	
-----------------	--

(3:4~3:7) 鼻をかむ。

・ちり紙で鼻をかみ、ふきとる ・鼻からフンと息出	・親がちり紙を鼻にあてる
--------------------------	--------------

(3:8~3:11) 入浴時、ある程度自分で体を洗う。

・石鹸使用で洗える ・背中等は不問	
-------------------	--

(4:0~4:3) 信号を見て正しく道路をわたる。

・交差点の信号の意味理解・行動可	
------------------	--

(4:4~4:7) ひとりで着衣ができる。

・手伝い不要 ・こだわり、好みで裏表逆 ・裏表逆指摘で直せる	・裏表逆指摘で気づかず/直せず
--------------------------------	-----------------

4. 対人関係

(0:0) 泣いているとき抱きあげるとしずまる。

(0:1) 人の顔をじっと見つめる。

○	×	メモ
・人の顔をじっと見つめることがある ・追視有無も不問 ・明らかな注視ではなくても可		
(0:2) 人の声ができる方向に向く。		
・子どもの寝ている横から声をかけるとその方へ顔をむける		
(0:3) あやされると声を出して笑う。		
・あやされた時声を出して笑う		・生理的な笑い
(0:4) 人を見ると笑いかける。		
・養育者が接近すると子どもから積極的に笑いかけることあり		・感情的な笑い
(0:5) 鏡に映った自分の顔に反応する。		
・鏡の自分の顔見てびっくりした表情や、手を出して掴もうとする		
(0:6) 親しみと怒った顔がわかる。		
・笑いには笑い返し ・怒った顔には顔をしかめ泣くなどする		
(0:7) 鏡を見て笑いかけたり、話しかけたりする。		
ā		
(0:8) おもちゃをとられると不快を示す。		
・玩具を取り上げた時、泣き出し・不快な感情を示す		
(0:9) 身ぶりをまねする（イナイイナイバーなど）。		
(0:10) 人見知りをする。		
・知らない人に対して家人と違った反応 ・今はなしでも可		
(0:11) 父や母の後追いをする。		
・養育者が出かけようすると後追いで泣く		
(1:0～1:1) ほめられると、同じ動作をくり返す。		
(1:2～1:3) 簡単な手伝いをする。		
・養育者片付け中、一緒に物をとってくれるなど ・自主的に行う	・言われたことだけを行う	
(1:4～1:5) 困難なことに会おうと助けを求める。		
・養育者に身振りで示すこと可能	・自閉特有クレール現象	
(1:6～1:8) 友達と手をつなぐ。		
(1:9～1:11) 親から離れて遊ぶ。		
(2:0～2:2) 電話ごっこをする。		
・養育者と、玩具電話で電話のまね ・相手がいて、交代でやり取り	・用途・機能の理解のみ ・相手の反応関係なく一方的に話す	
(2:3～2:5) 友達とけんかをする、言いつけにくる。		
・友達や兄弟と喧嘩して、言いつけにくる ・言語化不問		
(2:6～2:8) 年下の子どもの世話をやきたがる。		
・世話したり、愛情動作を示す	・注目あるも、実際の世話行動なし	
(2:9～2:11) ままごとで役を演じることができる。		
・ままごと遊びで固定の役ができる ・人間以外の役でもなりきっている	・固定の役らしい言動がない ・反響的なセリフ発言のみ	
(3:0～3:3) 「こうしていい？」と許可を求める。		
・言語化不問 ・仕草でも可		
(3:4～3:7) 友達と順番にものを使う（ブランコなど）。		
・順番を待てる ・兄弟だとできなくても友となら可		
(3:8～3:11) 母親にことわって友達の家遊びに行く。		
・近所に、養育者の許可を得て遊びに行く ・別の階や庭・広い公園等で養育者の見えない場所も可	・トイレ・お風呂など日常動作に関して許可求めて行く	
(4:0～4:3) ジャンケンで勝負をきめる。		
・ジャンケンの仕方と勝負理解 ・言語化不問		
(4:4～4:7) 砂場で2人以上で協力してひとつの山をつくる。		
・砂場で、友達と協力して一作品作成 ・兄弟/同世代と協力も可	・最後まで協力できなかった	
・粘土やブロックで協力作成でも可		

発達を全体構造的に観る質的判定基準 ― 言語 5. 発語

- (0 : 0) 元気な声で泣く。
 (0 : 1) いろいろな泣き声を出す。
 (0 : 2) 泣かずに声を出す。

○	×	メモ
		・きげんのよい時に有声音が出れば可

- (0 : 3) 声を出して笑う。
 (0 : 4) キャーキャー言う。
 (0 : 5) 人に向って声を出す。
 (0 : 6) おもちゃなどに向って声を出す。
 (0 : 7) マ、バ、パなどの音声が出る。

		・マ、バ、パの全音が言えなくてもよい
--	--	--------------------

- (0 : 8) タ、ダ、チャなどの音声が出る。

		・タ、ダ、チャの全音が言えなくてもよい
--	--	---------------------

- (0 : 9) さかんにおしゃべりをする。
 (0 : 10) 音声をまねようとする。
 (0 : 11) ことばを1～2語、正しくまねる。
 (1 : 0～1 : 1) 2語言える。
 (1 : 2～1 : 3) 3語言える。
 (1 : 4～1 : 5) 絵本を見て一つのものの名前を言う。
 (1 : 6～1 : 8) 絵本を見て三つのものの名前を言う。
 (1 : 9～1 : 11) 二語文を話す。
 (2 : 0～2 : 2) 「きれいね」「おいしいね」などの表現ができる。
 (2 : 3～2 : 5) 自分の姓名をいう。
 (2 : 6～2 : 8) 二数詞の復唱。(2/3)

	・言わずに手で示す	
--	-----------	--

- (2 : 9～2 : 11) 二語文の復唱。(2/3)

・モーラ数が合っている		
-------------	--	--

- (3 : 0～3 : 3) 同年齢の子供と会話ができる。

・一方的でなく相手のいい たいことも聞いて応答で きる		・場面緘黙で確認できない場合は検査不可とする
-----------------------------------	--	------------------------

- (3 : 4～3 : 7) 文章の復唱。(2/3)

・モーラ数が合っている		
-------------	--	--

- (3 : 8～3 : 11) 両親の姓名、住所を言う。

		・名字を省略したときは「上の名前は？」ときく ・ひとり親の場合はその親の名前が言えれば可 ・住所は都道府県名だけではなく、町に相当する身近な地名(マンション等の建物名は不可)が言えれば可
--	--	---

- (4 : 0～4 : 3) 四数詞の復唱。(2/3)

	・言わずに手で示す	
--	-----------	--

- (4 : 4～4 : 7) 文章の復唱。(2/3)

・モーラ数が合っている		
-------------	--	--

6. 言語理解

- (0 : 0) 大きな音に反応する。
 (0 : 2) 人の声でしずまる。
 (0 : 4) 母の声と他の人の声をききわける。
 (0 : 6) 親の話し方で感情をききわける。
 (0 : 9) 「いけません」と言うと、ちょっと手をひっこめる。
 (0 : 10) 「バイバイ」や「さようなら」のことばに反応する。

○	×	メモ
・おじきをする、 タッチするでも可	・声かけのみで手 をふらない	

- (0 : 11) 要求を理解する。(1/3)
 (1 : 0～1 : 1) 要求を理解する。(3/3)
 (1 : 2～1 : 3) 簡単な命令を実行する。
 (1 : 4～1 : 5) 絵本を読んでもらいたがる。
 (1 : 6～1 : 8) 目、口、耳、手、足、腹を指示する。

		・目またはメメ(幼児語)でも可
--	--	-----------------

- (1 : 9～1 : 11) 「もう一つ」「もう少し」がわかる。

		・積み木課題、コップ課題で「もう一つ」「もう少し」と命じただけでできれば可
--	--	---------------------------------------

- (2 : 0～2 : 2) 鼻、髪、歯、舌、へそ、爪を指示する。(4/6)

	・べろべーして、で 模倣が可	・舌またはペロ(幼児語)でも可
--	-------------------	-----------------

- (2 : 3～2 : 5) 大きい、小さいがわかる。
 (2 : 6～2 : 8) 長い、短いがわかる。
 (2 : 9～2 : 11) 赤、青、黄、緑がわかる。(4/4)
 (3 : 0～3 : 3) 高い、低いがわかる。
 (3 : 4～3 : 7) 数の概念がわかる。(3 まで)

		・ふたつ、みっつは2個、3個でもよい
--	--	--------------------

- (3 : 8～3 : 11) 用途による物の指示。(5/5)

		・こしかけるは座るでもよい
--	--	---------------

- (4 : 0～4 : 3) 数の概念がわかる。(5 まで)

		・よっつ、いつつは4個、5個でもよい
--	--	--------------------

- (4 : 4～4 : 7) 左右が分かる。